

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長

農作物病虫害発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。



連絡先 福井県農業試験場病虫害防除室
TEL 0776-54-9315
FAX 0776-54-5106
E-mail byogaichu-boujo@pref.fukui.lg.jp



福井県病虫害防除室 🔍 検索

令和8年農作物病虫害発生予察予報第8号

10月の気象概況

天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、高い確率50%です。

【野菜関係】

野菜名	病虫害名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ダイコン キャベツ ネ ギ	軟 腐 病		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)食痕性害虫を防除する。 2)強風後もしくは降雨や高温が続く場合は発病の恐れがあるので、 薬剤防除を行う。
ダイコン	モザイク病		微 発	平年：並み 前年：並み	1)アブラムシ類を防除する。
キャベツ	ベ と 病	初発期： 10月下旬	微 発	平年：並み 前年：並み	1)被害葉を除去する。 2)薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。 3)肥料切れをさせない。
	黒 腐 病		微 発	平年：並み 前年：並み	1)食痕性害虫を防除する。 2)強風後もしくは降雨や高温が続く場合は発病の恐れがあるので、 薬剤防除を行う。
ネ ギ	さ び 病		少 発	平年：並み 前年：並み	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)同一系統薬剤の連用は避ける。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ネ ギ	黒 斑 病		少 発 (局中発)	平年:やや多 前年:並み	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
	白 絹 病		少 発 (局中発)	平年:並み 前年:並み	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)同一系統薬剤の連用は避ける。 3)被害株を抜き取り処分し、初発の防除を重点的に行う。 4)薬剤防除の際には、株元近くに薬液が付着するようにする。
	萎 凋 病		少 発 (局中発)	平年:並み 前年:並み	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)同一系統薬剤の連用は避ける。 3)被害株を抜き取り処分し、初発の防除を重点的に行う。 4)薬剤防除の際には、株元近くに薬液が付着するようにする。
全 般	ヨトウムシ類 (ハスモン ヨトウ除く)		少 発	平年:並み 前年:並み	1)対象作物により薬剤が異なる。 2)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハスモン ヨ ト ウ	加害盛期: 10月中旬	少 発 (局中発)	平年:やや多 前年:やや少	
	コ ナ ガ	加害盛期: 10月中旬	少 発	平年:並み 前年:並み	1)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	モンシロ チ ョ ウ (アオムシ)		少 発	平年:並み 前年:並み	1)対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	タマナギン ウ ワ バ	加害盛期: 10月中旬	少 発	平年:並み 前年:並み	
	キスジノミ ハ ム シ	加害盛期: 10月上旬	少 発	平年:並み 前年:並み	
ネ ギ	シロイチモジ ヨ ト ウ	加害盛期: 8~10月	少 発 (局中発)	平年:やや多 前年:やや少	1)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ネギモグリヒ		少 発 (局中発)	平年:並み 前年:並み	
	ネギアザミウマ		少 発 (局中発)	平年:やや多 前年:並み	
ナ ス キュウリ ホウレンソウ (施 設)	アザミウマ類		少 発	平年:並み 前年:やや多	1)寄主範囲が広いので注意する。
ト マ ト ナ ス (施 設)	オオタバコガ		少 発	平年:並み 前年:やや多	1)果実に食入するため若齢幼虫期に防除を徹底する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ト マ ト キュウリ (施 設)	タ バ コ コナジラミ		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：やや多	1)タバココナジラミは黄化葉巻病を媒介するので特に注意する。 2)葉裏に、また、下葉に十分にかかるように農薬を丁寧に散布する。
	オンシツ コナジラミ		少 発 (局中発)	平年：並み 前年：やや多	
ト マ ト (施 設)	ミカンキイロ アザミウマ		少 発	平年：並み 前年：やや多	1)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ト マ ト サビダニ		少 発	平年：並み 前年：並み	
ホウレンソウ (施 設)	シロオビノ メ イ ガ	加害盛期： 10月下旬	少 発	平年：並み 前年：並み	

[果樹関係]

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
カ キ	カメムシ類		中 発 (局多発)	平年：やや多 前年：やや多	1)園内外を見回り、早期発見・早期防除に努める。

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キ ク	白さび病		微 発	平年：並み 前年：やや少	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
	オオタバコガ		少 発	平年：並み 前年：少	1)若齢幼虫期までに防除を徹底する。 2)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	アザミウマ類		少 発	平年：やや多 前年：やや多	1)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハダニ類		少 発	平年：やや多 前年：やや多	1)抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。